

## 令和元年度 ～事業所における自己評価について～

### \*環境・体制整備について

- ・新施設になったため、療育を行うのに十分なスペースを確保できるようになった。新しい動線や施設を使うルールを確定するまでが、対応が難しかった等。面談する場所や子どもの切り替えに使う場所等の選択肢が広がった等、新施設により、環境の改善が見られた。
- ・職員数は、定められた配置数はクリアできているが、充実した支援を行う際に必要な人員の確保はできていない。

### \*業務改善について

- ・毎日のカンファレンスを行っているが、より充実させるためには、時間が必要になる。時間の確保が難しい。
- ・職員の研修については、内部研修は専門性の高い方に直接指導頂けるので満足しているが、外部研修に中々参加できない状況が続いている。

### \*適切な支援の提供について

- ・児童発達においては、個別支援計画に基づき、それに沿った支援を行えるように、毎回カンファレンスを行い、職員間での子どもへの理解や目標の共有を図っている。

放課後等デイサービスにおいては、時間やグループが細かく別れているので、職員間の情報共有が難しくなる時がある。

### \*関係機関や保護者との連携について

- ・地域の行政、保健、福祉、保育、教育等の関係機関と連携して、まんまるの施設運営を行っている。
- ・保護者との連携は行っているが、充分ではないと感じている。

### \*保護者への説明責任について

- ・利用の流れやルールについては、必要な時期、内容ごとに説明を行っている。手紙、一斉メール等で全員に伝わるようにしている。個別説明が必要な場合も多いので、今後も丁寧な伝え方を心がけていく。
- ・個別支援計画については、時間を取り、保護者と話し合い、同意を得ている。

### \*非常時の対応について

- ・非常時に対しての備え、対応について、ある程度の対策をおこなっているが、今回の台風後のような非常事態が起きた時に具体的な対応策、どのような動きだしをするのか等、話し合いを重ねて準備する必要がある。